

花咲き山

令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第33号
2020.11.13
文責：小松正義

期末テストに向けて

今月26・27日は期末テストです。子ども達にとっては3回目の定期テストですから、計画の立て方や勉強の仕方も少しずつ分かってきたと思っています。その期待も込めつつ綴ります。

学年自治会では今回のテストに向けて、「提出物バトル」を行うことになりました。今までは「自主学習ページ数バトル」「学習時間バトル」と行った量をクラスで争って、お互いを刺激合ってきました。今回は**提出物が出せたか**どうかです。それだけ自治会のメンバーから見ても「1年生の提出状況は良くない。」と判断したのだと思います。

学年だよりでも、提出物について2回にわたって提案させていただきましたが、現時点では決して満足できる状況にないということです。お子さんは大丈夫か、家庭でも話し合ってみてください。

文化関係の表彰を受けました

中学生の「税についての作文」募集

飯豊町長賞 佐藤 澄伶さん（2組）

いじめ・非行をなくそう 山形県民運動「いじめ防止」標語コンクール

置賜地区 優秀賞 安部 悠希さん（2組）

「言葉の刃 あなたはむけて いませんか？」



澄伶さんは、町長さんから直々に賞状を手渡され、さらに作文の内容についても絶賛の言葉を頂きました。納税は国民の義務にもなっています。今からしっかり考えたいものです。

悠希さんは応募総数8000点以上の中から選ばれました。素晴らしい快挙です。私を含め、自分を振り返るとドキッと考える人もいるのでは・・・。

薬物乱用防止教室



十二日（木）長井警察署 生活安全課の佐藤祐子さんによる「薬物乱用防止」の講演を行いました。麻薬や危険ドラッグの恐ろしさ、たった一回の使用でも乱用になることなどを教えていただきました。本校では毎年一年生で実施している教室ですが、しっかりと知識を持って、決して薬物に近づかない知恵を身につけてほしいと思っています。

一度使ってしまうと、依存性が強く抜け出せなくなってしまうのが薬物です。また、甘い言葉によって誘われるのも薬物です。騙されないように十分気を付ける必要があることを理解してくれたのではないのでしょうか。模型やパネルなどもお持ちいただき子どもたちも興味を持って見学していました。



誹謗中傷

この言葉から何を連想しますか？
コロナ禍にあってなんでも話題になった言葉です。

現在、コロナの感染状況は第3波の到来と言われ、特に気温の低い北海道、東北への感染拡大が危惧されています。北海道や宮城県の状態を見れば理解できるものです。

ここ数日は、山形県内でも感染者が増え、あらためて気を引き締めなくてはとされます。

その中に小学生の感染者も確認されたことは、既にご存じのことと思います。学校には、「誹謗中傷」と受け取られる問い合わせの電話が鳴り止まなかったと聞いています。してはいけない事と分かっているはずなのに、身近に発生すると冷静さを欠いてしまうのでしょうか。

生徒にも話をしていますが、万が一の時にも、お互いに冷静に対処したいものです。他人事ではない状況ですので、どう対処するかお互いに考えていきたいものです。

